

東洋陶磁学会 第四十六回大会のお知らせ

初秋の候、会員の皆様には益々ご清祥の事と存じます。

この度、平成三十年度の大会を左記のとおり鹿児島で開催致します。奮ってご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

東洋陶磁学会

記

*日時 平成三十一年一月十九日(土)・二十日(日)・

二十一日(月)・・・現地見学会(貸切バス)

*共催 鹿児島県歴史資料センター黎明館

*会場 鹿児島県歴史資料センター黎明館講堂

(鹿児島県鹿児島市城山町七・二)

<http://www.pref.kagoshima.jp/reimeikan/>

*テーマ 「薩摩焼研究の現状と課題―この四半世紀の成果から―」

*趣旨 薩摩焼の研究は、前田幾千代『薩摩焼総鑑』(一九三四年)、

田澤金吾・小山富士夫『薩摩焼の研究』(一九四一年)など

古くから始まっていたが、その後、停滞していたと言わざるを得ない。しかし一九九〇年代に入り、鹿児島県内各地で薩摩焼窯跡の発掘調査が増加し、これまでの通説を塗り替える知見が蓄積されてきた。本大会では、この四半世紀の調査研究成果を振り返るとともに、今後の薩摩焼研究の課題を考えていきたい。

*日程

一月十九日(土) 午後一時より受付 午後一時三十分開会

・東洋陶磁学会常任委員長挨拶

大橋 康二

・基調講演「薩摩焼研究の現状と課題」

渡辺 芳郎

・明治維新一五〇周年記念黎明館企画特別展

「華麗なる薩摩焼―万国博覧会の時代のきらめき」見学

・懇親会 午後六時～ 於 ホテル・レクストン鹿児島

(鹿児島市山之口町四二二)

一月二十日(日) 午前九時三十分より受付 十時より発表

・研究発表

「豎野(冷水) 窯跡出土の薩摩焼

―型打ち製品を中心に―

関 明恵

「茶会記と売立に見る薩摩焼茶入」

松村真希子

(昼食・各自で)

「鹿児島県始良市における薩摩焼窯跡の調査」

深野 信之

「薩摩焼と琉球陶器」

新垣 力

「幕末から明治初期にかけての初期輸出向け薩摩焼の特徴と

展開について―在外資料調査の成果を含めて―」 深港 恭子

一月二十一日(月) 見学会(貸切バス) *定員五十名

午前九時・鹿児島中央駅発

日置市美山(沈壽官窯資料館、周辺窯跡等) ↓ 始良市加治木着

(昼食) ↓ 始良市加治木郷土館(始良市加治木出土の窯跡資料

等) ↓ 龍門司窯(工房・古窯跡等) ↓ 15:30 鹿児島空港 ↓

16:30 鹿児島中央駅着(予定)

*費用

・大会参加費(参加者全員)

二、〇〇〇円

・「華麗なる薩摩焼展」見学費(十九日)

八〇〇円

・懇親会費(十九日・申込者のみ)

六、〇〇〇円

・バス見学会費(二十一日・申込者のみ・昼食含む) 四、〇〇〇円

*交通

【飛行機】鹿児島空港より鹿児島市内行き空港バス

「金生町」下車徒歩十分

【JR九州】鹿児島中央駅から電車・バスを利用

鹿児島中央駅より徒歩十五分

【市電・バス】「市役所前」下車徒歩五分

【市内巡回観光バス】「薩摩義士碑前」下車すぐ



※御楼門建設工事に伴い、黎明館へは薩摩義士碑前の北門入口及び県立図書館側の駐車場入口よりご入館ください。
 ※Please enter from north gate or parking gate.

【注意】

・参加申込は**十二月二十五日迄**に、振込用紙にてお願い致します。
 ・発表の演題および順序が変更される場合がございます。
 ・「発表要旨」を大会前にホームページに掲載いたします。

東洋陶磁学会

一〇二一〇〇七四 東京都千代田区九段南 一五十六

りそな九段ビル五階 KSフロア

電話・FAX 〇三・三三三九・一二七七

[https:// toyotoji.com/](https://toyotoji.com/)